

♪ 「わらべうた」とリトミック ♪

音楽の先生ならではの考え方！！勉強になります♪♪♪
おるごーるの音楽教室をしてくださっている先生のブログに
家で楽しめる音楽あそびについての記事がありましたので
親子時間の参考になればと思い、掲載しました。
是非一度ご覧ください♪

わらべうたとリトミック

今の子どもには、意外と馴染みの少ない『わらべうた』

私が子どもの頃は、まだ(笑)縄跳びやゴム跳び、ボールつきなどのお供に歌いながら遊んでいましたし、“だるまさんがころんだ”や“ずいずいずっころばし”といった歌が現役で活躍していました🎵

『わらべうた』の素晴らしさを幼児教育や小学校教育に取り入れている所では、子ども達もよく知っていたりします。一方、そういった時間のない幼保や学校に通う子ども達は、メジャーなわらべうたも知らなかったりします。

このわらべうた、リトミック的にも、とても素晴らしい要素が満載なんです！

- ・ビートがはっきりしていて、ビート感を得やすい
- ・多くのうたは、2音や3音でできており、小さな子どもでも音程を取りやすい
- ・うたの中に、クライマックスに向けて期待を高める要素があり、「集中力」を養える
- ・親子や友だちとの、ふれあいやコミュニケーションとしても使える などなどです🎵

リトミックは、スイスの音楽家ジャック＝ダルクローズの考案した音楽教育、人間教育のメソッドです。西洋が発祥のメソッドではありますが、この考え方を生かし、日本でリトミックをやるなら、わらべうたを使わない手はないと思うのです。

外出自粛の今、『わらべうた』で子どもの相手をしてあげるのもいいかも🎵
と思います。

乳幼児さん向けわらべうた

0～1 歳さんのクラスで、よく使うわらべうたは

♪いっぽんばしこちょこちょ

♪ちよっちちよっちあわわ

♪ねずみ、ねずみ

♪あがりめさがりめ

♪ここはとうちゃんにんどころ

♪おすわりやす などです。

が、わらべうた 実は年齢なんて関係ない事が多いです。

たいていのわらべうたは、どのようにでも使えるのです。

たとえば

『だるまさんがころんだ』

これは、一人がオニになって、「だるまさんがころんだ～」と唱えて、

振り向いたときに動いたらダメ！という遊びがメジャーですが、

0 歳のあかちゃんを、このうたでトントンタッピングしてあげて

最後はくすぐったりテンポをかえて歌ってみたり

あんよができたら、歩いて止まったり

最後に持ち上げて高い高いしてあげたり、いかようにでも遊べるのです。

そうそう、

絵本『だるまさんがころんだ』も大人気ですものね！

あの絵本のように、いろいろな動きを真似っこしても、とても楽しいですよ♪

どんなわらべうたでも、お母さんが知っているうたで、

子どもに合わせてあげればいいのです😊

うちの5歳の息子ボールはまだ上手くつきません(笑)が、このお休み中

『あんたがたどこさ』と一緒に歌ってます。

まだ最後まで覚えられていませんが、“さ”でつついたり、くすぐってやると、喜んでノツてきます(笑)面白くなくては、子どもはノリませんね(笑)くすぐりは、てっとりばやくていいですね！

あとは、手拍子をして、“さ”でお互いの手を合わせるなどをしています。

ビートをしっかり感じられるし、“さ”への心の準備も大事になってきます。

めざすは

歌にあわせてボールつき です！

いつになることやら... (笑)